

鶴田町の皆さん ありがとうございました See you again.

今月31日をもって国際交流員のアレックスさんとキャサリンさんが任期を終え、それぞれの母国に帰ります。今までお世話になった町民の皆さまへ2人からお別れのメッセージです。

オレゴン大学で日本語の勉強をすると決めた時には、出身地フードリバーの姉妹都市である鶴田町に来ることなどまったく想像していませんでした。そのころは、将来何をするか決めていませんでした。でも、日本語の勉強を続けていくことで、この素晴らしい鶴田町での仕事をすることができました。3年半日本語を勉強したのに、町に来た時は言われたことがほとんど分かりませんでした。でも、言葉が通じなくても、津軽弁はだんだん理解できるようになりました。今は皆さんと仲良くなることができ、鶴田の子どもたちはわたしの顔や名前を知っています。わたしが教えた700人を超える子どもたちの名前を覚えるのは難しいですが、子どもたちから「アレックス先生だ！」と声をかけられるととても嬉しかったです。日本に住んでいた2年8か月間で、いろいろな経験が出来ました。車を購入したり、友人を作ったり、秋田市で相撲をしたり、岩木山でスノーボードをしたり、新しい趣味を始めたり、日本海で泳いだり、鶴田町で過ごした日々は絶対に忘れません。

日本について3年半勉強しましたが、青森県は想像とまったく違っていました。日本語の授業の中で「初めて会った時には、必ず丁寧語を使わないといけない」と教えられましたが、津軽地域では丁寧語をほとんど聞かなかったような気がします。それはなぜでしょうか？津軽の人たちがみんな親しみ易いからなのでしょうか？まあ、どんな理由であろうとも、気軽に話しかけられることを居心地よく感じていました。

ここはふるさとではありませんが、みんなが親切でいつもわたしを助けてくれました。



・小学生たちと一緒に
稲刈りを体験

言葉が通じなくても心が通じていることに気づき、鶴田に住むことが楽しくなりました。言葉では本当のこと、嘘のこと、何でも言うことはできます。英語のことわざで「Actions speak louder than words」があります。意味は「口先よりも実践が大事」ということです。鶴田町や青森で出会った皆さんの振る舞いは正直で優しいと感じました。丁寧語を使わなくても、マナーがあると思いました。わたしは、ほかの言語を習うことは難しいことだと思いますが、どんな言語でも本当のコミュニケーションを取るの方が難しいと思います。共感、協力、傾聴が大事だと思います。その3つを守っていけば、どの言語でもコミュニケーションが出来ると思っています。

鶴田町の皆さん、わたしに共感・協力・傾聴してくれてありがとうございました。



アレックス・ロザウスキ
／Alex Lozowski
出身地／アメリカ合衆国オレ
ゴン州フードリバー出身
○国際交流員として平成21年
12月～24年7月まで役場総務
課まちづくり班に勤務



キャサリン・タットネル
／Katherine Tatnell
出身地／オーストラリアビク
トリア州トーキー出身
○国際交流員として平成23年
8月～24年7月まで役場総務
課まちづくり班に勤務

高校生の時、和歌山県に5か月間留学してから、日本で仕事をするのは私の夢でした。その夢を鶴田町で成就できたので本当に幸せです。1年は短い期間ですが、思ってた以上に多くの素晴らしいことを得て、鶴田を離れることは本当にさびしいです。

田舎が大好きなわたしにとって、鶴田町は理想的でした。岩木川沿いやリンゴ園を散歩したり、毎日違った岩木山へ沈む夕陽を見たり、みなさんからリンゴやリンゴジュースをいただいたりして、とてもいい思い出を作ることができました。そして、初めてのホワイトクリスマスや雪国の生活は本当に楽しかったです。よくスキーやスノーボードに行ったり、温泉に入ったりしましたが、2月になっても大雪が続いていたので、楽しかった雪かきも少し辛く感じた時もありました。でも、大雪が降っても皆さんはいつもと変わらず生活していることにとってもびっくりしました。

この1年間で、いろいろな所に行ったり、さまざまな事をしましたが、一番よかったのは友達を作ったり、やさしい同僚と仕事をしたり、子どもたちや先生と勉強をしたり、町民のみなさんと知り合えたことです。鶴田町の皆さんは、鶴田に遊びに来た私の家族も温かくもてなしてくださって本当に感謝しています。両親も鶴田に来た時、皆さんが優しく温かくもてなしてくださったことをとても感謝していました。

日本に来る前、将来どんな仕事をするのか決めていませんでしたが、小学校や幼稚園を訪問し英語を教えたりして、子どもに教えることが大好きになりました。最大の喜びは、生徒たちがいつも元気に「Hello」とあいさつをして微笑んだり、いつも英語の授業を一生懸命頑張ってくれることです。わたしは帰国後は、オーストラリアで1年間小学校教育の勉強をして小学校の先生になりたいと思っています。鶴田町の皆さんのおかげでまた新しい夢ができ、次の夢に向かって頑張りたいと思います。

皆さんにはこの1年大変お世話になりました。皆さんのことは一生忘れません。心から本当に感謝を申し上げます。



・大好きな鱒ヶ沢スキー場で